

成績評価方法と客観的指標について

本学における成績評価方法と客観的指標については以下のとおりとする。

(1) 成績評価方法について（本学学則・細則にて規定）

- 授業科目の履修単位の認定に係る成績評価は、学年末において、各期末（前期：9月頃、後期：2月頃）に行う試験、実技実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が、講義の場合は授業時数の3分の2に達していない者、実習の場合は授業実数の4分の3に達していない者は、その科目において評価を受けることができない。
- 成績評価は、当該科目のシラバスで定められた評価方法における満点に対する6割以上の得点を以って合格とし、単位取得となる。

(2) 成績評価における客観的評価について

- 学生の学習意欲を高め、各学生に対する学修指導を適切に実施するために、各学生が在籍する学科の中で、成績がどの位置にあるのかを把握するための客観的な評価を実施し、その方法は表1のとおりとする。
- 客観的な評価に用いる各学生の成績は、当年度に取得した全ての科目の取得点数を平均化するものとする。
- 学校教育法に基づく大学等において履修した単位については、本人からの申請に基づき、既習内容と本校の学習内容が合致すると認められた場合には、試験等を実施し科目の免除を行うものとする。

表1：客観的指標に用いる基準

評価	評価の基準点	備考
秀	90点以上	到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成績を修めている。
優	80点以上90点未満	到達目標を十分に達成している。
良	70点以上80点未満	到達目標を達成している。
可	60点以上70点未満	到達目標を最低限度達成している。
不可	60点未満	到達目標を理解していないため、不合格とする。